

カネライトフォーム® 取扱上の注意事項

火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限を超えた状態で火源に接した場合、燃焼や爆発を起こす可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等が当たらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

紫外線注意

直射日光に長時間（2～3日以上）さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかに行ってください。

有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防腐・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

高温注意

使用温度は70℃以下です。70℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。黒色系フォームは、吸熱しやすい性質がありますので、屋外での保管は遮光性のあるシート等で覆ってください。尚、透明のシートは内部が高温になりやすいので、使用しないでください。

強風注意

軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないでください。また、保管にあたっては上に重りをのせるかロープ掛け等で、飛散防止措置をしてください。

その他の注意

1. 切削等でフォーム屑が発生する取扱いを行う場合には集塵設備を設けるか、防護マスク等の保護具を着用してください。
2. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。
3. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行ってください。
4. 廃棄の際には、条例に従って処理してください。燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。
5. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。
カネライトフォーム® は主として断熱材として使われることを想定しています。
それ以外の使用については、お問い合わせください。

カネライトフォーム、オメガピンは、株式会社カネカの登録商標です。

製造 株式会社 カネカ

Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

東京本社 〒107-6028 東京都港区赤坂 1-12-32 (アーク森ビル)

販売 (問い合わせ先) カネカケンテック株式会社

営業本部 住環境営業部

●北海道営業課	〒060-0002	北海道札幌市中央区北2条西3-1-20	TEL: 011(222)5231
●東北営業課	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1	TEL: 022(722)2901
●新潟営業課	〒950-0087	新潟県新潟市中央区東大通2-3-28	TEL: 025(248)3860
●東日本営業課	〒112-0004	東京都文京区後楽1-1-7	TEL: 03(6370)2370
●名古屋営業課	〒461-0008	愛知県名古屋市東区武平町5-1	TEL: 052(959)3251
●西日本営業課	〒541-0045	大阪府大阪市中央区道修町4-4-10	TEL: 06(6205)3621
●九州営業課	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1-9-17	TEL: 092(778)1001
●ソリューション営業課	〒112-0004	東京都文京区後楽1-1-7	TEL: 03(6370)2372



<https://www2.kenzai.kaneka.co.jp>

23.11.1500A

カガクで
ネガイを
カナエル会社

断熱材割付システム

カネライトフォーム® プレカット

のご提案

断熱施工を

もっと効率よく

もっと簡単に

カネカケンテック株式会社

工期短縮・現場加工費削減・廃棄処理費削減

プレカットだからできる、無駄

のない断熱施工。

断熱材割付システム
カネライトフォーム®
プレカット
のご提案

施工現場を
変える
3つの
メリット

工期短縮

現場加工が不要！
切屑を防ぎ、清掃の手間も軽減します。

コスト削減

廃材処理が不要！
切り間違いによるロスもありません。

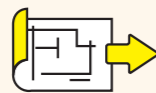
品質安定

正確な寸法にカット！
安定した施工品質を維持できます。



簡単
オーダー

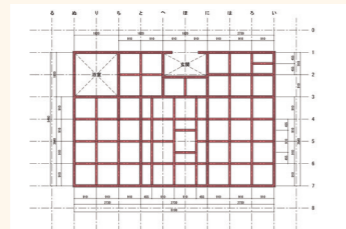
1 図面を送るだけ



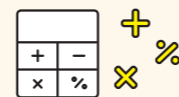
土台伏図・平面図

図面 CAD データをメールなどでお送りいただくだけ。
※断熱グレード・厚さをご指示ください。

【モデル A 土台伏図】



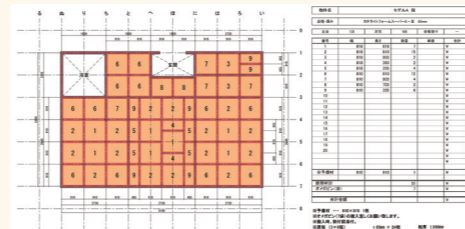
2 さっとお見積り



割付図面&お見積り

図面をもとに割付図面を作成。お見積りと納品までのスケジュールを提示します。

【モデル A 割付図面とお見積り】



3 正確なカット加工



承認・発注&カット加工

承認・発注後にプレカット加工を行います。
高い精度の加工で、現場での作業効率もアップします。



4 施工もラクラク

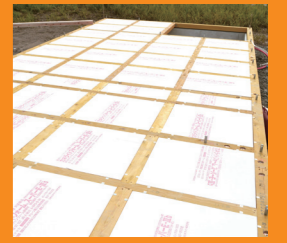


納品・施工

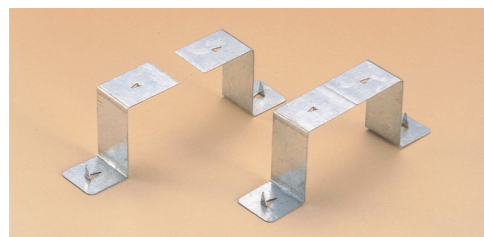
ご指定の場所へ割付図とともに納品します。施工現場では、オメガピンとプレカット部材をはめ込むだけです。



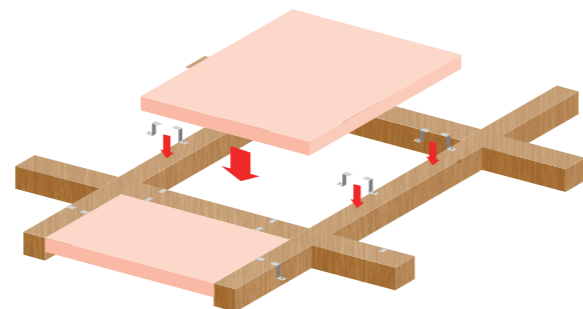
プレカットで
現場施工完了!



専用金具でガッチリ固定! 「オメガピン®」 /



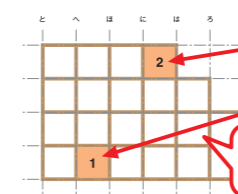
根太(または大引き)の上に取り付け、所定の寸法に加工した「カネライトフォーム」を落とし込むだけの簡単な施工を実現!



加工済みなのでめ込むだけ! /

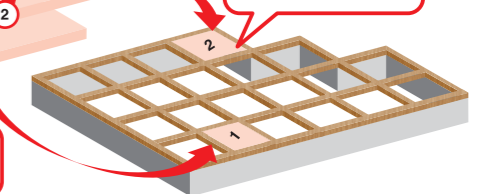


カネライトフォームの小口に番号が記載されています。

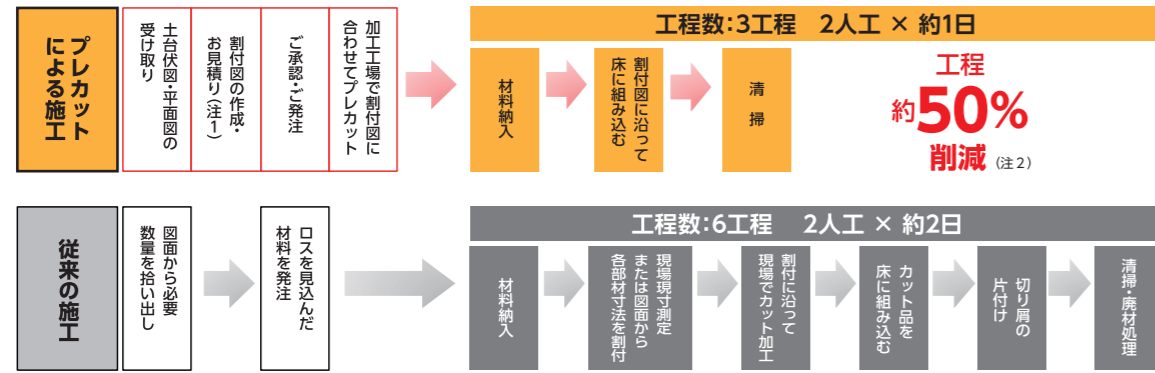


図面番号と照らし合わせて施工します。

脱落防止のため専用金具をご使用ください。

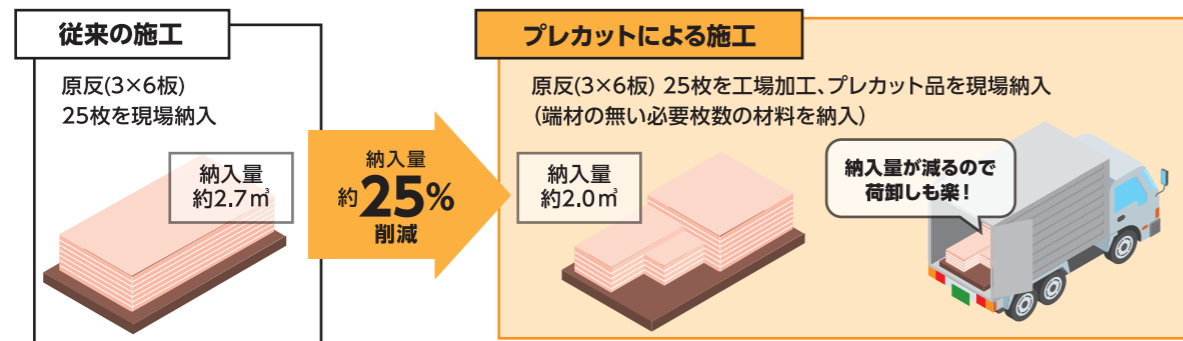


■従来の施工とプレカットによる施工の比較



注1) プレカット加工費を含めたお見積りを致します。
 注2) 工程の削減率(50%)は、モデルAの敷設範囲面積41㎡(玄関・浴室を除く)の床にプレカット加工した場合の想定値

■従来の施工とプレカットによる施工のコスト比較



コスト削減例

- 工期短縮により人件費などの削減が図れます。
- プレカット品を納入するため、現場切断費用が発生しません。
- 切り屑等を減らし、現場清掃の手間が軽減されます。
- 現場でのゴミ発生が大幅に減り廃材処理費用の削減になります。

※納入量の削減率(25%)は、モデルAの敷設範囲面積41㎡(玄関・浴室を除く)の床にプレカット施工した場合の想定値
 ※モデルAの設計条件/平成28年省エネルギー基準、木造戸建て住宅、部位:床(その他の部分)、地域区分:4~7、床断熱材:t=65mm(カネライトフォームスーパーE-III)

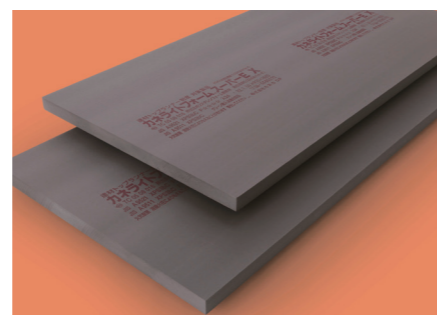
■カネライトフォーム®の特徴



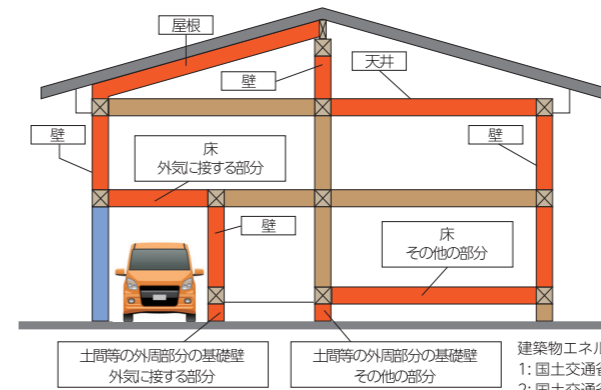
■カネライトフォーム®の一般物性

製品記号		3種b		
JIS A 9511 記号		XPS3bA	XPS3bC	XPS3bD
JIS A 9521 記号				
項目	単位	スーパーE-III	スーパーEX	FX
密度	kg/m³	25以上	25以上	25以上
熱伝導率	W/(m・K)	0.028以下	0.024以下	0.022以下
圧縮強さ	N/cm²	20以上	20以上	20以上
曲げ強さ	N/cm²	25以上	25以上	25以上
吸水量	g/100cm²	0.01以下	0.01以下	0.01以下

・試験法はJIS A 9521による。



■仕様基準 / 省エネ基準と誘導基準のカネライトフォーム®の必要厚さ一覧表



JIS A 9511 記号	カネライトフォーム		
	FX	スーパーEX	スーパーE-III
JIS A 9521 記号	XPS3bD	XPS3bC	XPS3bA
熱伝導率 W/(m・K)	0.022	0.024	0.028

熱抵抗値 (R値) の求め方

$$\text{熱抵抗値} : R \text{ [(m}^2 \cdot \text{K) / W]} = \frac{\text{材料厚さ} : d \text{ (m)}}{\text{熱伝導率} : \lambda \text{ [W / (m} \cdot \text{K)]}}$$

建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令 (平成28年経済産業省・国土交通省令)
 1: 国土交通省告示 第266号 住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準
 2: 国土交通省告示 第1106号 住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する誘導基準

省エネ基準に適合する仕様基準・等級4相当

【単位】 上段 仕様基準の熱抵抗値 R値 (m²・K) / W
下段 グレード/厚さ (mm)

断熱部位	1・2地域	3地域	4-7地域	8地域
屋根又は天井	5.7 EIII/160 EX/140 FX/130	4.0 EIII/115 EX/100 FX/90		EIII/25
壁	2.9 EIII/85 EX/70 FX/65	1.7 EIII/50 EX/45 FX/40		
床	3.8 EIII/110 EX/95 FX/85		2.5 EIII/70 EX/60 FX/55	
	3.5 EIII/100 EX/85 FX/80		1.7 EIII/50 EX/45 FX/40	
土間床等の外周部分の基礎壁	1.2 EIII/35 EX/30 FX/30		0.5 EIII/20	

木造軸組/外張断熱

断熱部位	1・2地域	3地域	4-7地域	8地域
屋根	6.6 EIII/185 EX/160 FX/150	4.6 EIII/130 EX/115 FX/105		0.96 EIII/30 EX/25
天井	5.7 EIII/160 EX/140 FX/130	4.0 EIII/115 EX/100 FX/90		EIII/25
壁	3.3 EIII/95 EX/80 FX/75	2.2 EIII/65 EX/55 FX/50		
床	5.2 EIII/150 EX/125 FX/115		3.3 EIII/95 EX/80 FX/75	
	3.3 EIII/95 EX/80 FX/75		2.2 EIII/65 EX/55 FX/50	
土間床等の外周部分の基礎壁	3.5 EIII/100 EX/85 FX/80		1.7 EIII/50 EX/45 FX/40	
	1.2 EIII/35 EX/30 FX/30		0.5 EIII/20	

【単位】 熱貫流率 W/(m²・K)

断熱部位	1-3地域	4地域	5-7地域	8地域
開口部の熱貫流率	2.3	3.5	4.7	-

誘導基準に適合する仕様基準・等級5相当

【単位】 上段 仕様基準の熱抵抗値 R値 (m²・K) / W
下段 グレード/厚さ (mm)

断熱部位	1・2地域	3地域	4-7地域	8地域
屋根又は天井	6.3 EIII/180 EX/155 FX/140	4.8 EIII/135 EX/120 FX/110		0.9 EIII/30 EX/25
壁	3.8 EIII/110 EX/95 FX/85	2.3 EIII/65 EX/60 FX/55		
床	4.5 EIII/130 EX/110 FX/100		3.1 EIII/90 EX/75 FX/70	
	3.5 EIII/100 EX/85 FX/80		1.7 EIII/50 EX/45 FX/40	
土間床等の外周部分の基礎壁	1.2 EIII/35 EX/30 FX/30		0.7 EIII/20	

木造軸組/充填断熱

断熱部位	1・2地域	3地域	4-7地域	8地域
屋根	6.9 EIII/195 EX/170 FX/155	5.7 EIII/160 EX/140 FX/130		1.0 EIII/30 EX/25
天井	5.7 EIII/160 EX/140 FX/130	4.4 EIII/125 EX/110 FX/100		0.8 EIII/25
壁	4.0 EIII/115 EX/100 FX/90	2.7 EIII/80 EX/65 FX/60		
床	5.0 EIII/140 EX/120 FX/110		3.4 EIII/100 EX/85 FX/75	
	3.3 EIII/95 EX/80 FX/75		2.2 EIII/65 EX/55 FX/50	
土間床等の外周部分の基礎壁	3.5 EIII/100 EX/85 FX/80		1.7 EIII/50 EX/45 FX/40	
	1.2 EIII/35 EX/30 FX/30		0.7 EIII/20	

【単位】 熱貫流率 W/(m²・K)

断熱部位	1-3地域	4-7地域	8地域
開口部の熱貫流率	1.9	2.3	-

・EIIIはカネライトフォーム®スーパーE-III、EXはカネライトフォーム®スーパーEX、FXはカネライトフォーム®FXのグレードを示します。
 ・断熱材の厚さは各基準R値に適合する断熱材の総厚さです。断熱材の各グレードにより厚さを組合わせて使用する場合もありますので、詳細はお問合せ下さい。